



## 用語解説

### い

#### 入会林野

現在の大字や集落などを単位として、そこに住む住民が旧来の慣習の下に共同で、採草、放牧、木材生産などに利用している森林のこと。

### う

#### ウッドセラミックス

フェノール樹脂（熱硬化性樹脂）を浸透させた木材を、焼成して炭化させた材料のことで、青森県工業試験場で開発された。解体材等の木質系廃棄物やおが粉など工場残材も原料となる。木炭と異なり通電性を持つ。電気ヒーター材料、クラフト材料等の用途開発が盛んに行われている。

### え

#### FSC（森林管理協議会）

世界の森林を対象として、特定の基準や指標を基に森林が持続的に管理されているかどうかを評価、認証する森林認証制度を実施する機関。1993年設立。林業者、木材流通業者、自然保護団体等の会員で構成されている。

### か

#### 外材

外国から輸入された木材のこと。輸入元によって、アメリカ、カナダからの米材、東南アジア、オセアニアからの南洋材、ロシアからの北洋材等がある。

#### 拡大造林

天然林を伐採した跡地や原野に、目的に応じた樹種の植栽を行うこと。

#### 下層植生

森林において上木の下に生えている、草本や低木、幼樹などの植物群落のこと。土壌流出や崩壊を防止し、林地の生産力の保持や保全の上で、重要な役割を果たしている。

#### 間伐

込み合った森林を、適正な密度で健全な森林に導くために、また徐々に収穫するために間引く作業。

### き

#### 郷土樹種

長い期間の自然淘汰によって、それぞれの地方や生育環境に適応し、自然状態で分布している樹種。

### 菌床栽培

ほだ木の代わりに、おが粉やチップに水と米ぬか、ふすまなどを加えたものを袋や瓶に詰め、殺菌後、きのこ種菌を接種することにより、きのこを栽培する方法。

## く

### グリーン・ツーリズム

旅行者が農村に滞在し、農作業等の体験を通じて、地域の自然及び文化に触れる観光の一形態のこと。

### グリーンベルト

海岸沿いの人家、道路、農地などを季節風から保全するために、県内の海岸線に沿って植えられている森林。

### グリーンマイスター（基幹林業技能士）

森林・林業に必要な知識と、立木の伐採や集材作業に必要な技術、さらにこれらの作業に必要な資格や免許を取得させる基幹林業技能士養成研修を修了して、知事の認定を受けた林業従事者。

## け

### 原木

製材、合板、パルプなどの原材料として用いられる丸太。

## こ

### 公益的機能

森林が持っている機能のうちで広く一般に役立つもののことをいい、山地災害の防止や水資源の確保、自然環境の保全などのこと。

### 高性能林業機械

林業機械のうち、作業効率や労働強度の軽減等の性能が著しく高い機械で、以下の多行程処理機械の総称。

- (ハーベスタ) 立木の伐倒、枝払い、玉切り（材を一定の長さに切りそろえること）の各作業と、玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。
- (プロセッサ) 伐倒された材の枝払い、玉切りを一貫して行い、かつ丸太の集積も行う自走式機械。
- (フォワード) 玉切りした材を荷台に積載し、運搬する集材専用トラクタ。
- (タワーヤード) 移動性を高め、仮設撤去の時間を短縮するために元柱となるタワーと集材装置を専用の台車に搭載した集材機。



## 用語解説

### 国有林

国が所有し管理している森林。ここでは林野庁所管の森林をいう。

### さ

### 里山林

居住地近くに広がる、薪炭用材の採取等を通じて地域住民に継続的に利用されることにより維持・管理されてきた森林。

### 山地災害危険地区

山腹崩壊、地すべり及び土砂流出、土石流等の災害が実際に発生し、または発生する危険性が著しく高いとして指定された地区のこと。山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、地すべり発生危険地区の3種に区分される。

### 山地防災ヘルパー

平成9年から始まった制度で、主な任務として、山崩れや土石流が発生しやすい箇所把握や、発生時の情報提供を行う。治山事業の経験者や市町村の職員、林業関係団体の職員などから知事が認定する。

### し

### 自然循環型社会

限りある資源を有効に利用して現在の生活・生産活動を維持していくために、資源採取から生産、消費、廃棄まで、物質を管理し、循環させる社会システムのこと。

### 持続可能な森林経営

森林を多様な生態系の場ととらえ、森林の保全と利用を両立させ、森林に対する自然・社会環境の様々なニーズに永続的に対応すべきという、森林の取り扱いに関する理念のこと。

### シックハウス症候群

ビルや家を新築あるいは改装するときを使用される、壁紙、合板、家具などの接着剤や塗料、建材に使用されている防腐剤や防虫剤に含まれている化学物質が原因で生じる、目やのどの痛み、ぜん息、頭痛などの症状のこと。

### 指導林家

青年林業士として5年以上の活動経験や先進的な林業経営・技術があり、地域の模範的な活動をしている概ね65歳未満の知事の認定を受けた林業家。グループ活動や林業後継者の受け入れ研修等、林業技術の普及に尽力している。

### 集成材

ラミナと呼ばれる小角材を、繊維方向に互いに平行にして、長さ、幅及び厚さの方向に集積接着した材をいう。

### 樹下植栽

上木のある状態で、その木の間に苗木を植えること。主に間伐を行った後、複層林造成を目的として行われる。

### 人工林

木材生産を目的として、苗木の植栽等により、人為的に成立した林。

### 森林インストラクター

レクリエーションや野外活動、環境教育など森林に関わる様々な活動の指導を行う人。

### 森林火災予防巡視員

地域の森林に精通した人を知事が委嘱し、森林火災の多発する4月から6月までの3ヶ月間、森林火災の予防と早期発見に努めるため、保安林と以前火災が発生した森林を中心に巡視を行う。

### 森林GIS

コンピューターで森林の位置・形状等の図面情報と林齢、樹種、蓄積等の数値や文字の情報を一元的に管理することにより、林地の検索や表示、解析などを簡単に行えるようにする地理情報システムのこと。

### 森林認証制度

独立した第三者機関が、特定の基準や指標を基に森林が持続的に管理されているかどうか評価、認証する制度。主な認証機関としてFSC（森林管理審議会）やISO（国際標準化機構）がある。

### 森林ボランティア

森林における様々なボランティア活動の総称で、森林インストラクターによる環境教育活動から、人工林の手入れのような林業活動まで含む。森林に対する市民の理解を得る重要な活動であり、都市住民と山村住民との交流の場としての役割も持っている。

## せ

### 青年林業士

知事の行う林業の専門的講習等を修了し、森林・林業に関する技術向上の研鑽に努めながら地域でリーダーとして活躍している、概ね36歳未満で知事の認定を受けた若手林業従事者。



## 用語解説

### 生物多様性

すべての生物間の変異性のことであり、種内の多様性、種間の多様性及び生態系の多様性をいう。生態系における生物種の多様さとそれぞれの複雑な機能の相互作用によって、自然環境は安定に保たれている。

### 雪泥流

土石流の一種で、山腹斜面や溪流に堆積した泥分の多い土砂が、降雪により多量の水を含んで流出すること。

### ゼロ・エミッション

産業活動のなかで、排出物（エミッション）を限りなくゼロに近づけることにより、「循環型社会」を構築しようという考え方。

## そ

### 素材

山から伐り出された丸太のこと。

## た

### 択伐

主伐の一種で、経営目的に到達し収入を期待できるものや成長が衰えはじめたもの、材質に欠点があるものなどを、厳密には単木的に抜き伐ることをいう。

## ち

### 地球温暖化

空気中の炭酸ガス（主に二酸化炭素）の濃度が高くなることにより、温室効果が発生し、地球全体の気温が上昇する現象。

### 蓄積

森林の立木体積の和。立方メートルを単位とする。

### 治山

山地に健全な森林を整備し、森林の持つ様々な機能を生かして、自然災害の防止、水資源のかん養、生活環境の保全などを図り、安全で豊かな生活を実現する行為。

### 長伐期施業

人工林などで、大径材生産を目標として皆伐するまでの期間を80～100年以上とする施業のこ

と。柱材生産を目標として40～50年で皆伐する施業に比べ、皆伐するまでの期間が長くなることにより、安定した森林生態系がより長く保持できるという利点がある。

## つ

### ツーバイフォー住宅

2インチ×4インチの製材を枠組とし、構造用合板を打ち付けた壁、床等で家屋の荷重を支える、枠組壁工法の住宅。

## て

### 天然林

自然の状態であって、造林、保育について人の手が加わっていない森林。

## と

### 特用林産物

主に、きのこ、木炭、クルミなど木材以外の林業生産物のこと。

### 都市近郊林

ある程度の人口を持つ都市において、市街地区域からそれほど遠くない場所に位置する森林のこと。都市住民の憩いの場として緑空間を提供する以外に、大気浄化機能や気象緩和機能を持ち、緊急避難場所としての役割も大きい。

## に

### 日本三大美林

青森ヒバ（津軽・下北半島）、秋田スギ（秋田県米代川流域）、木曾ヒノキ（長野県木曾川流域）のこと。

## は

### バイオマスエネルギー

植物などの生命体によって貯えられた有機物を利用したエネルギーのこと。

### 葉枯し

伐倒した樹木を、枝葉のついたまま一定期間林内に放置し、残した枝葉からの水分蒸発によって含水率を低下させる乾燥方法。



## 用語解説

### ふ

#### 複層林施業

森林を構成する樹木を部分的に伐採し、苗木の植栽等を行うことにより、様々な樹高の樹木を有する森林を造成する施業。

#### プレカット

建築部材を工場であらかじめ刻み加工を施すこと。大工技能者不足への対応、部材加工コストの低減化、住宅の工期短縮等を図ることができる。

### ほ

#### 保安林

水資源のかん養、土砂崩れなどの災害防止、生活環境の保全などの公共目的を達成するために、森林法に基づき一定の制限が課せられている森林。その目的に応じて17種類の保安林がある。

### ま

#### マツノマダラカミキリ

松くい虫の一種で、松を枯死させるマツ材線虫病の原因であるマツノザイセンチュウを媒介する。

### み

#### 緑の回廊

多様な生物の保護と移動経路を確保し、これまで設定されている保護林の機能をこれまで以上に高度に発揮させるために設定された森林のこと。

#### 民有林

国有林以外の森林のこと。県・市町村が有する「公有林」と個人・会社等が有する「私有林」がある。

### も

#### 木質プラスチック

木材・プラスチック複合材（WPC）のこと。木材にビニル系樹脂原料液を注入することにより、プラスチックの性能を付加した複合材料。木材の良さを生かしつつ、強度、耐水性、寸法安定性に優れている。

#### 木材利用相談センター

青森県木材協同組合内に設置されている、木材に関する一般県民からの問合せ・相談窓口。

### 木質ペレット

樹皮や廃材、おが粉などを粉碎し、直径7mm、長さ1～2cm程度に圧縮成型した固形燃料のこと。

### モントリオールプロセス

持続可能な森林経営の進捗状況を評価するために、国際的な基準と指標を定めた取組み。日本を含め世界12カ国が参画している。

## り

### 流域管理システム

川の上流から下流までを「流域」という一つの単位として、国有林と民有林が連携して森林整備や伐採などの計画を立てたり、森林所有者や林業事業者・木材産業の関係者が情報交換や話し合いを行っている。

### 流域林業活性化センター

流域管理システムの推進を図るため、関係者の合意形成の場として、都道府県、市町村、林業団体及び木材関連産業団体などにより組織された任意団体。

### 林家

統計調査用語上、定義された用語で、保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

### 林業研究グループ

経営の改善や技術の向上のために、地域の林業後継者が中心となって自主的に結成された共同研究グループ。

### 林業事業者

造林業者や素材生産業者など、樹木の植栽、保育、伐採等を行う業者の総称。ここでは森林組合を除く。

### 林業労働力確保支援センター

林業への就業希望者の就職相談、技術者育成研修の実施、事業者への各種情報提供等、林業労働者の募集の段階から就業後まで、一体的かつ総合的に支援事業を実施する団体。

## ろ

### 路網密度

森林内にある林道、作業道、一般道の総延長を、森林面積で割ったもの。森林の単位面積あたりの延長 (m/ha) で表わされる。